

久住高原から見る草原の景色

くじゅう連山は、平均標高 1700m、東西 15km に広がる火山群です。有名な山では、久住山（1787m）、硫黄山（1762m）、三俣山（1745m）、中岳（1791m）があります。この中で、硫黄山は今でも噴火活動があり、中岳はくじゅう連山の最高峰です。くじゅう連山は「九州の屋根」とも呼ばれており、熊本県の阿蘇エリアと大分県の湯布院を結ぶ絶景にあふれる「やまなみハイウェイ」の途中に位置しています。

くじゅう連山の南部には、歴史的な地震活動による火山灰やデブリから作られた久住高原があります。台地自体は、豊かな自然と広大な草原に囲まれた約 1000m の高さに位置しています。野生の花が草原を覆い、新鮮な草で日本の赤牛の群れが放牧されているのを見ることができます。

険しい山々を背景にした、長者原地域の草原の素晴らしい景色を望むことができます。この地域には多くの自然火山温泉と豊富なハイキングコースがあります。